



血統書より大切なもの



写真の子たちは全て
ちばわんに保護された純血種犬です。

犬を選ぶとき、同じ犬種なら血統書つきの犬を選びますか？
同じ犬だったら、MIX犬（雑種）より純血種犬を選びますか？



Illustration
Miyuki Kawaguchi

血統書つきの純血種犬

血統書がない純血種犬

何が混ざっているかわからないMIX（雑種）

みんな同じ犬なのに

家族の一員に迎えるのに違いはあるでしょうか？



ある小型犬のMIXのわんちゃんがありました。

その子は「血統書」がないからというだけで

家の中に入れてもらえず、

ご飯も、これで十分だ！と少ししかもらえず

ほかの血統書つきの犬たちとは違い、

差別のなかで生活してきました。

その子はとても性格がよく、

誰にでも人懐こい子なのに

血統書がないという理由だけで、

人間の愛情を分けてもらえず、揚げ句に

保健所に連れて行かれそうになりました。



血統書とは、一枚の紙切れに、母犬・父犬、そのまた母犬・父犬

そのまた母犬・父犬の三代祖が記されているものです。

母犬、父犬の性格・大きさ、どんなところで暮らしていたのか

どんな人が育てていたのか、そしてその子の本来の性質など、重要な情報はわかりません。

血統書の証明には、オス犬のDNA登録をすることになってはいますが

厳しい審査がないため偽造が増えています。

もちろん、まじめに取り組んでいるブリーダーさんも大勢います。

しかし、残念ながら血統書の偽造や、

血統書があるからといって、安易な自家繁殖を繰り返す悪質ブリーダーも増えているのです。

その結果、近親交配による遺伝性疾患や、性格に問題のある子が生まれ、

ペットショップやインターネットで取引されることが増えています。

知らずに引き取った家族は「こんなはずじゃなかった・・・」と飼育が嫌になり

保健所に処分を依頼したり、山奥などに捨てる・・・

といった悪のサイクルが起こっているのが日本の現状です。

動物の処分場はこうした不幸な純血種犬の収容がとて増えています。

人間の安易な考えの犠牲になり、飼い主や繁殖業者によって、

天寿を全うすることなく、早い死を迎えている子が今たくさんいるのです。



新しい家族の一員を迎えること。

それは「血統書」といった紙切れ一枚で判断されるのではなく

その犬自身の性格を知ることが重要です。

同じ母犬から生まれた兄弟だって、それぞれ性格が違うのは人間と一緒に。

一人一人が犬猫を選ぶとき、犬種、血統書にとらわれずに

もっともっと慎重になれば、安易な自家繁殖や、子犬を産むための道具のように

あつかわれている繁殖犬たちを減らすこともできるでしょう。

血統書よりも

ちばわんなどのボランティア団体に保護され

個人宅で生活して、どういう性格の子で、健康状態はどうか、

苦手なことや好きなこと、好きな食べ物や好きなおもちゃ

そんな情報が、こと細かに分かるほうが

安心できませんか？



これから多くの方が
犬種や血統書にこだわらず、本当に自分にあう子を
家族として迎えてくださるよう願っております。



ちばわん

ちばわんは行き場のない犬猫に、新しい家族を探す市民ボランティアグループです。

ホームページ <http://www.chibawan.net/>